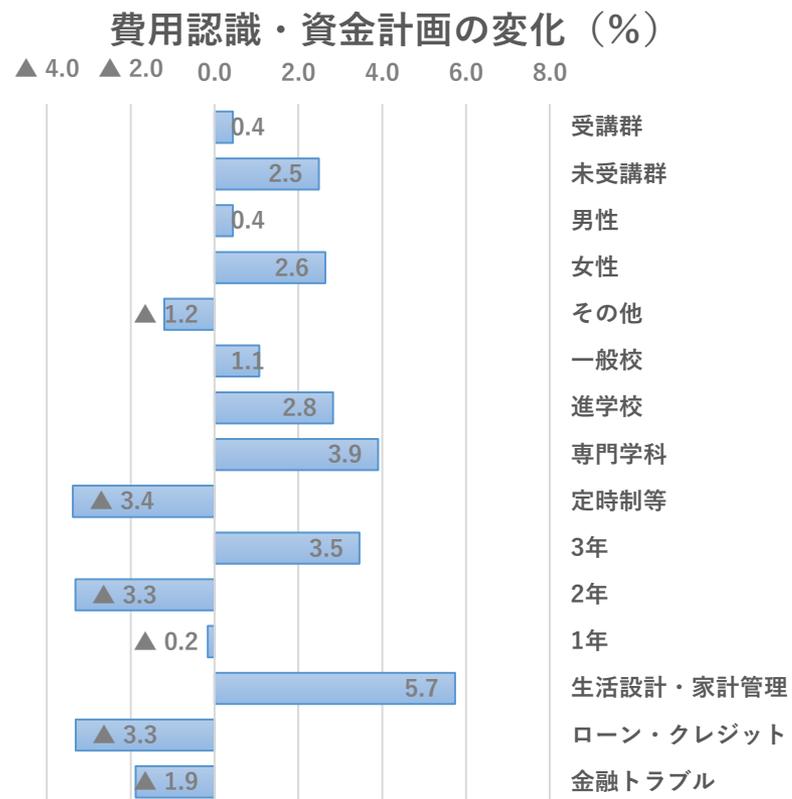
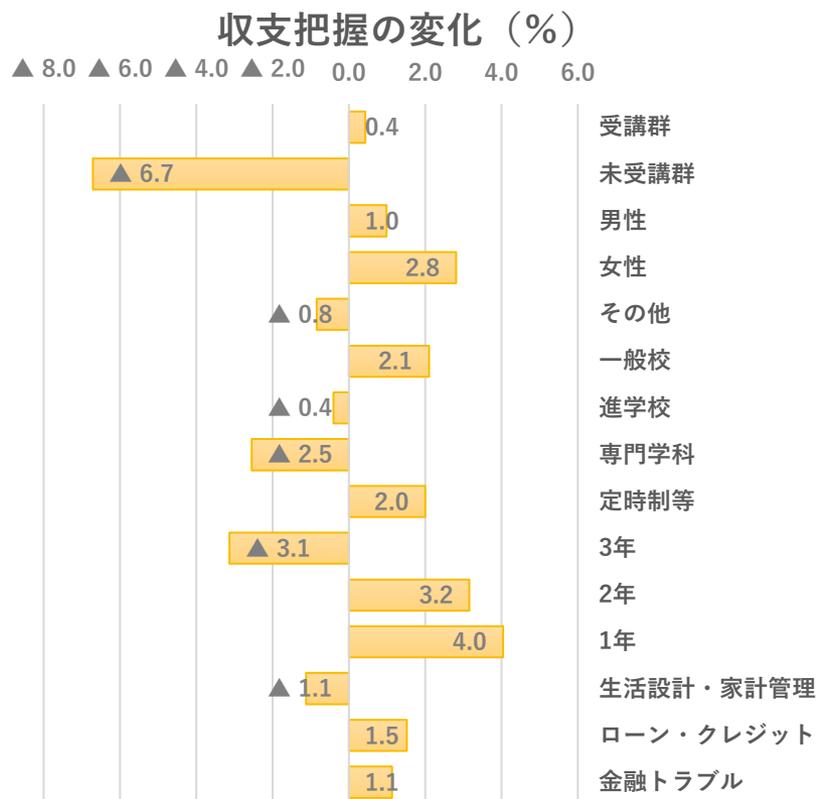


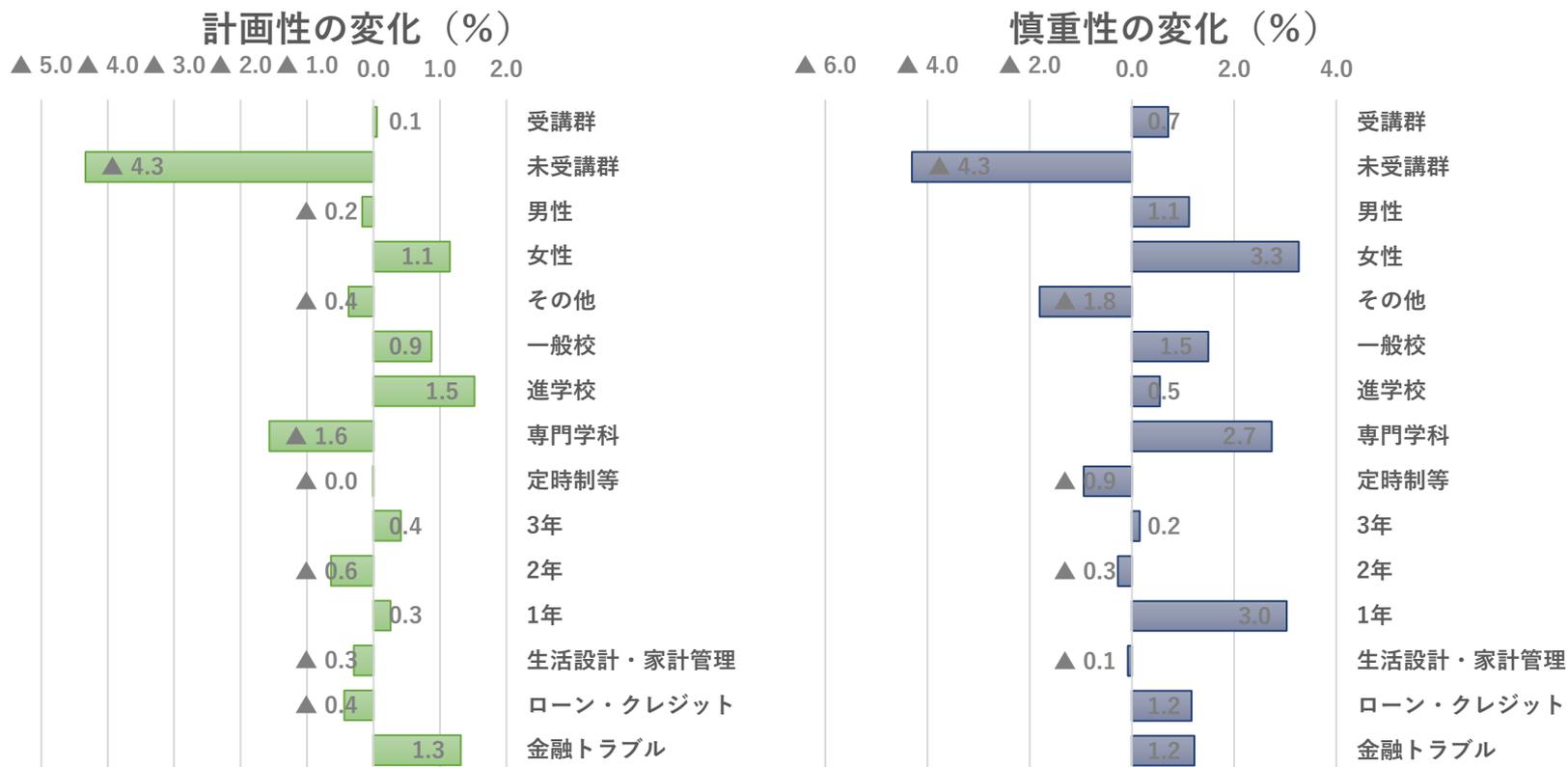
9-1. 行動特性・考え方の変化量と属性

行動特性・考え方の変化量



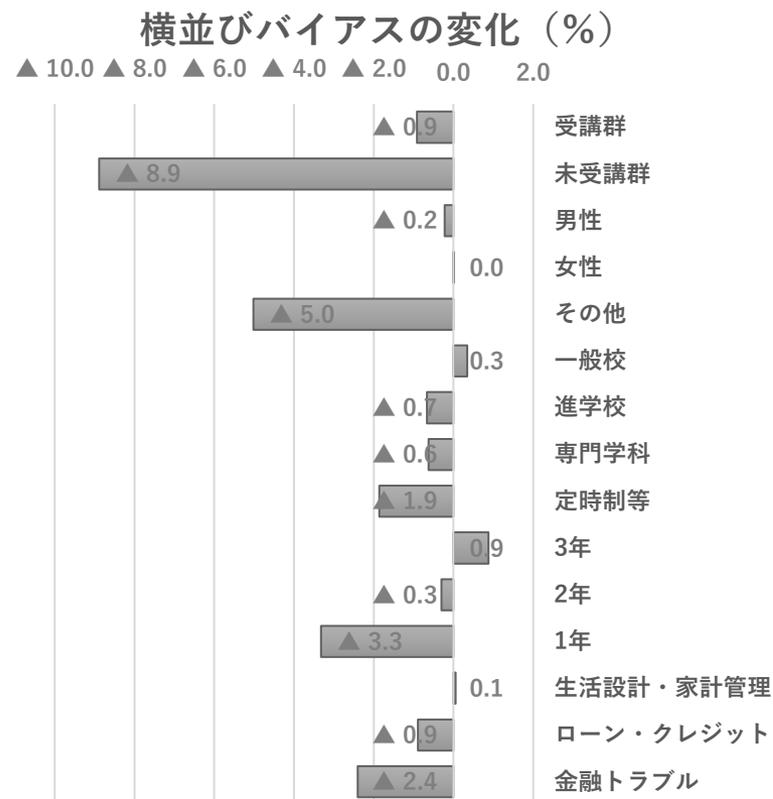
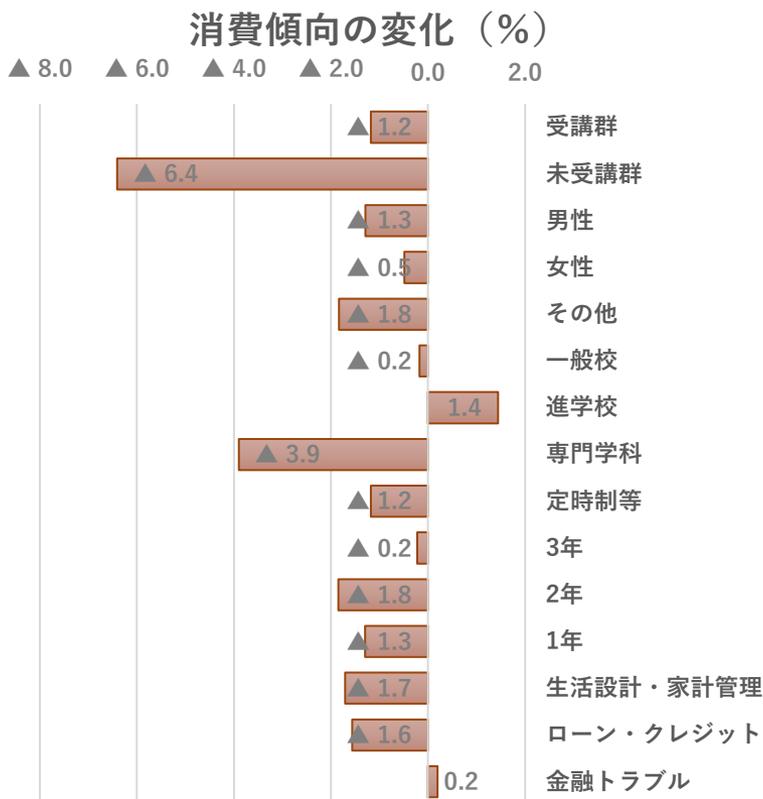
9-2. 行動特性・考え方の変化量と属性

行動特性・考え方の変化量



9-3. 行動特性・考え方の変化量と属性

行動特性・考え方の変化量

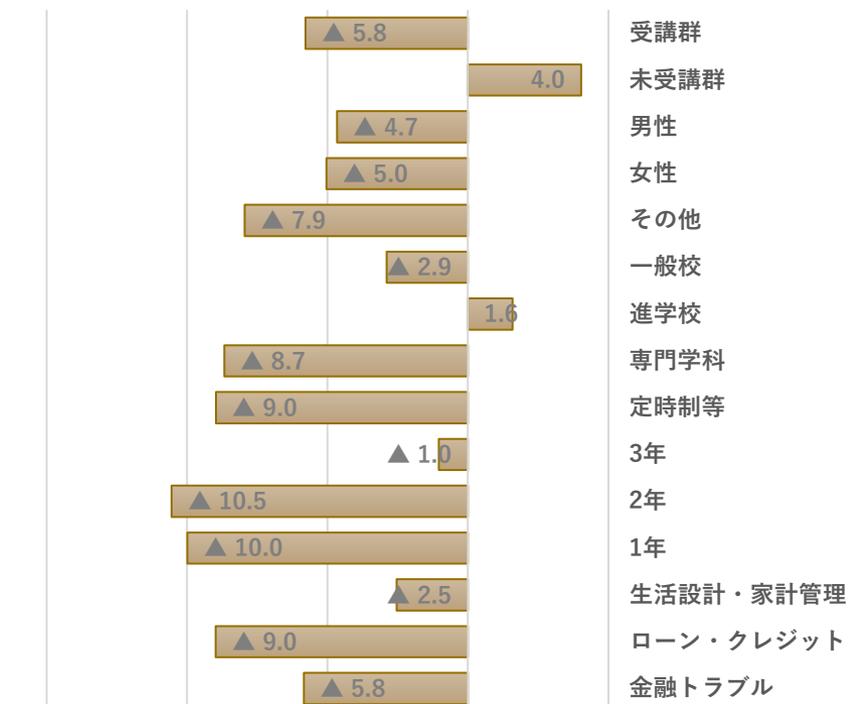


※：反転項目（値が低いほど良い傾向にある項目）

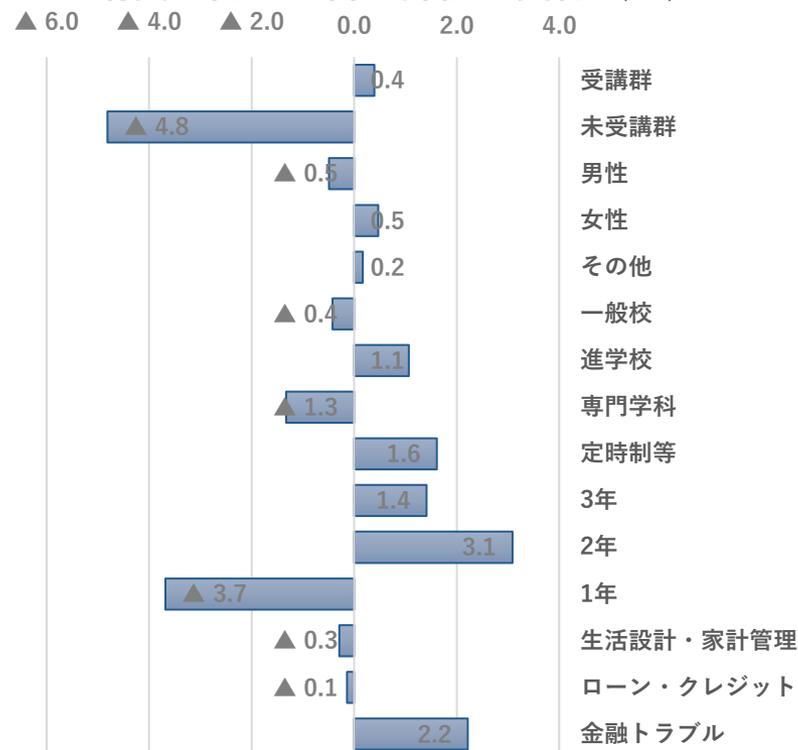
9-4. 行動特性・考え方の変化量と属性

行動特性・考え方の変化量

損失回避行動の変化 (%)

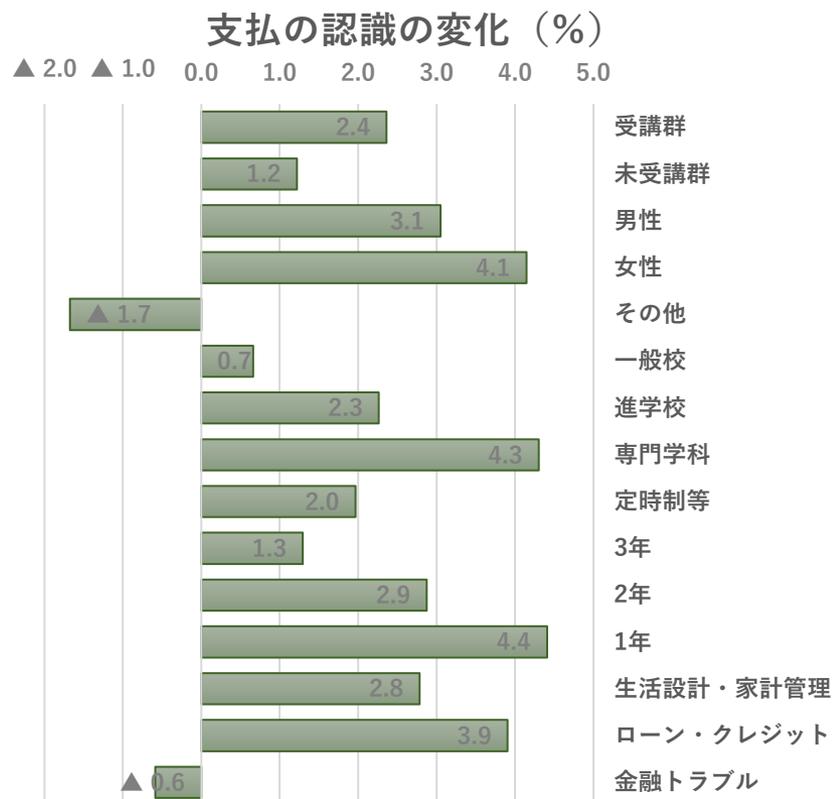


消費に関する自己評価の変化 (%)



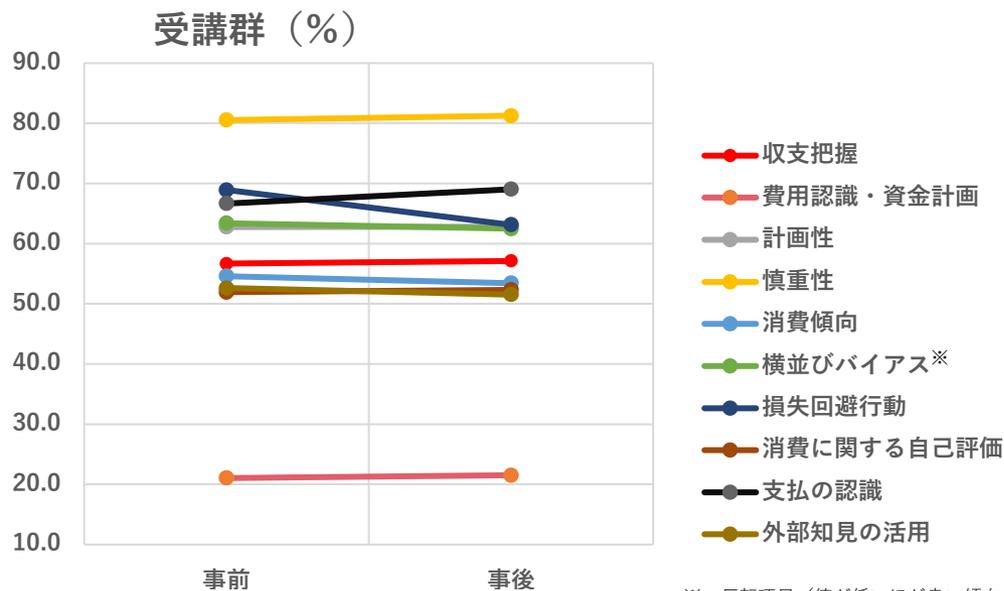
9-5. 行動特性・考え方の変化量と属性

行動特性・考え方の変化量



9-6. 行動特性・考え方のセミナー受講による変化

行動特性・考え方の変化（事前・事後）



Brief Explanation

- **行動特性・考え方**の各分類を比較したところ、受講群、未受講群共に「費用の認識・資金計画」に関するスコアが、他の分類と比較して有意に低かった。これは設問Q6からQ7に対応するものであり、今後必要になる資金の認識や必要額を問う設問であったことから、自立して生活している学生が少ない高校生という年齢によるものと考えられる。
- 受講群・未受講群共に「慎重性」に関するスコアは、他の分類と比較して有意に高かった。

9-7. 行動特性・考え方の変化量と属性

行動特性・考え方のスコアは、10分類のうち7分類で受講群にポジティブな変化が見られた。

行動特性・考え方の変化

(単位：%)

		収支把握			費用認識・資金計画			計画性			慎重性			消費傾向		
属性	性別	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量
受講群	男性	57.7	58.7	1.0	23.5	23.9	0.4	62.9	62.8	▲0.2	80.2	81.3	1.1	51.2	49.9	▲1.3
	女性	56.9	59.7	2.8	18.2	20.8	2.6	63.4	64.6	1.1	80.1	83.4	3.3	57.7	57.3	▲0.5
	その他	28.6	27.7	▲0.8	16.0	14.8	▲1.2	31.2	30.8	▲0.4	43.5	41.7	▲1.8	28.0	26.1	▲1.8
	全体	56.7	57.1	0.4	21.1	21.5	0.4	62.7	62.8	0.1	80.5	81.3	0.7	54.6	53.4	▲1.2
未受講群	男性	53.9	49.6	▲4.4	20.9	24.5	3.6	60.2	62.1	1.9	81.1	81.5	0.5	52.5	48.8	▲3.7
	女性	52.5	47.4	▲5.0	19.3	18.8	▲0.5	65.6	64.1	▲1.5	80.6	83.7	3.1	60.2	56.2	▲3.9
	その他	50.1	35.3	▲14.8	15.6	27.1	11.4	57.7	40.3	▲17.4	71.8	50.8	▲21.0	49.8	34.6	▲15.2
	全体	52.5	45.8	▲6.7	20.1	22.6	2.5	62.1	57.8	▲4.3	80.0	75.7	▲4.3	54.3	47.8	▲6.4

		横並びバイアス※			損失回避行動			消費に関する自己評価			支払の認識			外部知見の活用		
属性	性別	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量
受講群	男性	62.2	62.0	▲0.2	55.2	50.5	▲4.7	52.7	52.3	▲0.5	67.1	70.2	3.1	53.4	54.8	1.4
	女性	64.9	64.9	0.0	79.8	74.8	▲5.0	51.8	52.2	0.5	66.3	70.5	4.1	50.9	52.8	1.9
	その他	34.2	29.2	▲5.0	43.0	35.0	▲7.9	24.9	25.0	0.2	35.6	33.9	▲1.7	32.3	23.8	▲8.4
	全体	63.4	62.5	▲0.9	68.9	63.1	▲5.8	51.9	52.3	0.4	66.7	69.0	2.4	52.6	51.5	▲1.1
未受講群	男性	65.3	57.8	▲7.4	44.7	50.6	6.0	56.1	53.2	▲2.9	66.2	73.6	7.4	52.0	61.5	9.5
	女性	62.3	62.2	▲0.1	69.1	72.5	3.5	52.6	49.7	▲2.9	63.0	67.9	4.9	51.9	52.8	1.0
	その他	55.4	46.0	▲9.4	43.0	40.2	▲2.7	44.1	36.3	▲7.8	58.8	48.5	▲10.3	44.9	38.5	▲6.4
	全体	64.3	55.4	▲8.9	50.8	54.9	4.0	54.2	49.4	▲4.8	64.6	65.9	1.2	51.2	54.6	3.4

※：反転項目（値が低いほど良い傾向にある項目）

9-8. 行動特性・考え方：学年による比較

行動特性・考え方について学年で比較したところ、1年生と、2年生・3年生では、スコアの変化に異なる傾向が見られた。

行動特性・考え方の変化（学年比較）

（単位：％）

属性	性別	収支把握			費用認識・資金計画			計画性			慎重性			消費傾向		
		事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量
3年	男性	60.8	61.4	0.6	25.5	30.1	4.6	62.2	62.3	0.0	82.1	81.0	▲ 1.1	48.2	48.4	0.3
	女性	62.1	57.8	▲ 4.3	22.0	25.1	3.1	65.0	67.0	1.9	81.6	85.0	3.4	57.5	57.1	▲ 0.4
	その他	39.0	36.1	▲ 2.9	21.1	23.3	2.2	36.4	33.3	▲ 3.1	48.9	46.8	▲ 2.1	28.4	24.5	▲ 3.8
	全体	62.0	58.9	▲ 3.1	23.8	27.3	3.5	62.7	63.1	0.4	81.3	81.5	0.2	52.1	51.9	▲ 0.2
2年	男性	58.9	61.1	2.2	22.6	17.8	▲ 4.8	63.6	63.5	▲ 0.2	77.8	81.4	3.6	53.6	52.5	▲ 1.1
	女性	58.7	69.8	11.1	15.9	19.5	3.6	62.1	62.4	0.3	78.4	82.3	3.9	57.5	56.1	▲ 1.4
	その他	28.3	15.0	▲ 13.3	16.5	6.3	▲ 10.2	38.0	31.0	▲ 7.0	53.3	41.0	▲ 12.3	35.3	28.0	▲ 7.3
	全体	56.9	60.1	3.2	19.8	16.5	▲ 3.3	63.0	62.3	▲ 0.6	80.5	80.2	▲ 0.3	56.4	54.6	▲ 1.8
1年	男性	55.2	56.3	1.1	20.6	19.6	▲ 1.0	63.0	63.1	0.1	80.1	81.7	1.7	53.3	50.6	▲ 2.6
	女性	46.4	51.2	4.8	14.2	15.7	1.5	65.4	65.6	0.1	79.8	82.8	3.0	61.2	60.8	▲ 0.4
	その他	19.7	32.5	12.8	8.4	12.8	4.3	21.9	30.5	8.5	29.5	42.0	12.5	21.7	28.8	7.0
	全体	50.1	54.1	4.0	17.6	17.5	▲ 0.2	63.5	63.8	0.3	79.4	82.4	3.0	57.1	55.8	▲ 1.3

属性	性別	横並びバイアス※			損失回避行動			消費に関する自己評価			支払の認識			外部知見の活用		
		事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量
3年	男性	61.0	59.8	▲ 1.2	55.6	50.7	▲ 4.8	50.7	49.8	▲ 0.9	70.1	71.5	1.4	54.0	59.5	5.4
	女性	62.8	66.4	3.6	77.6	82.3	4.6	50.8	54.3	3.4	69.7	72.5	2.8	50.7	56.1	5.4
	その他	30.2	24.9	▲ 5.3	42.8	36.1	▲ 6.7	26.0	20.7	▲ 5.3	48.5	46.0	▲ 2.5	34.0	29.6	▲ 4.4
	全体	60.6	61.4	0.9	66.9	65.8	▲ 1.0	49.5	50.9	1.4	70.5	71.8	1.3	52.2	55.9	3.8
2年	男性	62.0	65.9	4.0	59.7	53.5	▲ 6.2	52.1	58.0	5.9	63.1	68.9	5.8	49.1	49.5	0.4
	女性	68.9	68.1	▲ 0.8	79.8	69.7	▲ 10.1	54.1	52.4	▲ 1.6	63.7	70.0	6.4	53.6	55.0	1.4
	その他	44.7	32.0	▲ 12.7	60.0	40.0	▲ 20.0	28.0	32.0	4.0	37.3	24.0	▲ 13.3	42.0	20.0	▲ 22.0
	全体	65.8	65.5	▲ 0.3	73.4	62.9	▲ 10.5	53.6	56.7	3.1	62.3	65.2	2.9	52.7	46.9	▲ 5.7
1年	男性	63.8	62.1	▲ 1.7	54.5	49.0	▲ 5.6	55.8	49.9	▲ 5.9	65.7	69.3	3.6	57.8	49.8	▲ 7.9
	女性	66.0	61.9	▲ 4.2	79.3	67.5	▲ 11.7	53.8	50.8	▲ 3.0	62.8	66.3	3.5	48.9	45.9	▲ 3.0
	その他	33.3	39.6	6.4	36.2	30.3	▲ 5.9	17.6	28.8	11.2	18.7	33.7	15.0	21.2	28.7	7.5
	全体	65.4	62.1	▲ 3.3	68.7	58.7	▲ 10.0	54.0	50.4	▲ 3.7	64.4	68.8	4.4	53.8	48.5	▲ 5.3

※：反転項目（値が低いほど良い傾向にある項目）

9-9. 行動特性・考え方：受講プログラムによる比較

行動特性・考え方について受講プログラムで比較したところ、受講プログラムにより変化がみられる分類に差が見られた。

行動特性・考え方の変化（受講プログラム比較）

（単位：％）

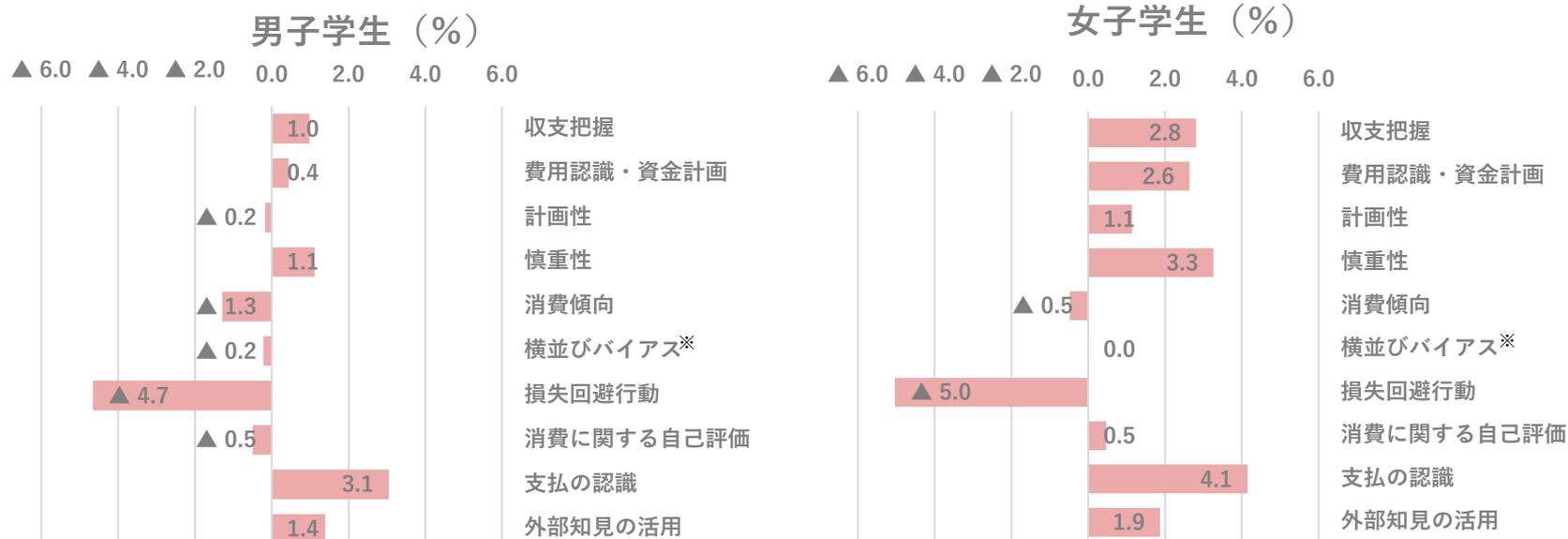
属性	性別	収支把握			費用認識・資金計画			計画性			慎重性			消費傾向		
		事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量
生活設計・ 家計管理	男性	60.7	62.9	2.2	21.5	28.7	7.2	62.4	62.0	▲ 0.4	81.9	79.8	▲ 2.0	50.7	50.3	▲ 0.4
	女性	59.0	57.7	▲ 1.3	18.9	24.2	5.3	65.5	67.1	1.6	81.0	85.5	4.4	60.7	58.4	▲ 2.3
	その他	39.5	39.8	0.4	15.6	18.9	3.3	40.2	39.9	▲ 0.3	50.3	54.1	3.8	31.7	34.6	2.8
	全体	60.2	59.1	▲ 1.1	20.1	25.8	5.7	62.7	62.4	▲ 0.3	80.7	80.7	▲ 0.1	54.7	53.0	▲ 1.7
ローン・ クレジット	男性	52.7	52.7	0.1	23.1	18.9	▲ 4.2	65.3	64.1	▲ 1.2	80.1	83.7	3.6	52.8	51.1	▲ 1.8
	女性	53.2	59.5	6.3	16.7	17.5	0.8	63.5	64.4	0.9	80.7	84.3	3.6	58.1	57.6	▲ 0.5
	その他	25.7	25.8	0.2	21.6	20.1	▲ 1.4	29.1	28.5	▲ 0.6	42.4	40.5	▲ 2.0	27.3	21.5	▲ 5.8
	全体	51.0	52.5	1.5	20.6	17.3	▲ 3.3	64.5	64.1	▲ 0.4	81.8	83.0	1.2	56.8	55.2	▲ 1.6
金融 トラブル	男性	60.8	61.3	0.5	27.0	24.4	▲ 2.6	60.3	62.0	1.7	78.0	80.1	2.1	49.4	47.5	▲ 1.9
	女性	59.5	63.2	3.7	19.2	20.6	1.4	60.1	61.0	0.9	77.9	78.9	1.0	52.7	55.1	2.4
	その他	16.7	12.5	▲ 4.2	8.3	0.8	▲ 7.6	20.8	20.6	▲ 0.2	35.0	25.0	▲ 10.0	23.3	20.4	▲ 2.9
	全体	59.9	61.1	1.1	23.2	21.4	▲ 1.9	60.2	61.5	1.3	78.3	79.5	1.2	51.2	51.4	0.2

属性	性別	横並びバイアス			損失回避行動			消費に関する自己評価			支払の認識			外部知見の活用		
		事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量
生活設計 ・家計管理	男性	61.8	59.5	▲ 2.3	56.2	50.5	▲ 5.7	52.7	50.4	▲ 2.3	67.8	70.7	3.0	50.7	56.3	5.6
	女性	65.6	68.4	2.7	76.9	81.0	4.1	54.1	55.7	1.6	66.8	71.7	5.0	48.2	55.3	7.2
	その他	30.2	36.5	6.3	40.4	37.0	▲ 3.4	31.3	29.8	▲ 1.5	48.0	50.7	2.8	35.3	42.8	7.5
	全体	62.0	62.1	0.1	66.5	63.9	▲ 2.5	51.9	51.6	▲ 0.3	67.9	70.7	2.8	49.3	54.0	4.7
ローン・ クレジット	男性	62.6	66.3	3.7	53.0	49.2	▲ 3.8	55.6	55.8	0.2	65.4	71.5	6.1	57.0	54.8	▲ 2.2
	女性	63.8	61.9	▲ 1.8	81.6	70.9	▲ 10.7	53.4	51.9	▲ 1.5	65.6	71.5	5.9	54.1	51.2	▲ 2.8
	その他	36.6	25.6	▲ 11.0	46.4	39.7	▲ 6.7	21.7	22.0	0.2	34.7	30.5	▲ 4.2	31.9	14.1	▲ 17.8
	全体	64.2	63.3	▲ 0.9	71.3	62.3	▲ 9.0	55.0	54.9	▲ 0.1	65.0	68.9	3.9	56.8	49.7	▲ 7.1
金融 トラブル	男性	62.3	59.3	▲ 3.0	57.0	52.5	▲ 4.5	48.6	49.7	1.2	68.7	67.2	▲ 1.5	52.0	52.5	0.4
	女性	65.6	64.3	▲ 1.4	81.6	71.3	▲ 10.3	45.8	47.5	1.7	66.8	67.0	0.2	50.4	51.4	0.9
	その他	36.7	23.8	▲ 12.9	41.7	25.0	▲ 16.7	20.0	22.5	2.5	18.3	13.8	▲ 4.6	28.3	10.0	▲ 18.3
	全体	64.2	61.8	▲ 2.4	69.0	63.1	▲ 5.8	47.3	49.5	2.2	67.3	66.7	▲ 0.6	51.3	50.6	▲ 0.8

※：反転項目（値が低いほど良い傾向にある項目）

9-10. 行動特性・考え方：性別による比較

行動特性・考え方の変化（性別比較）



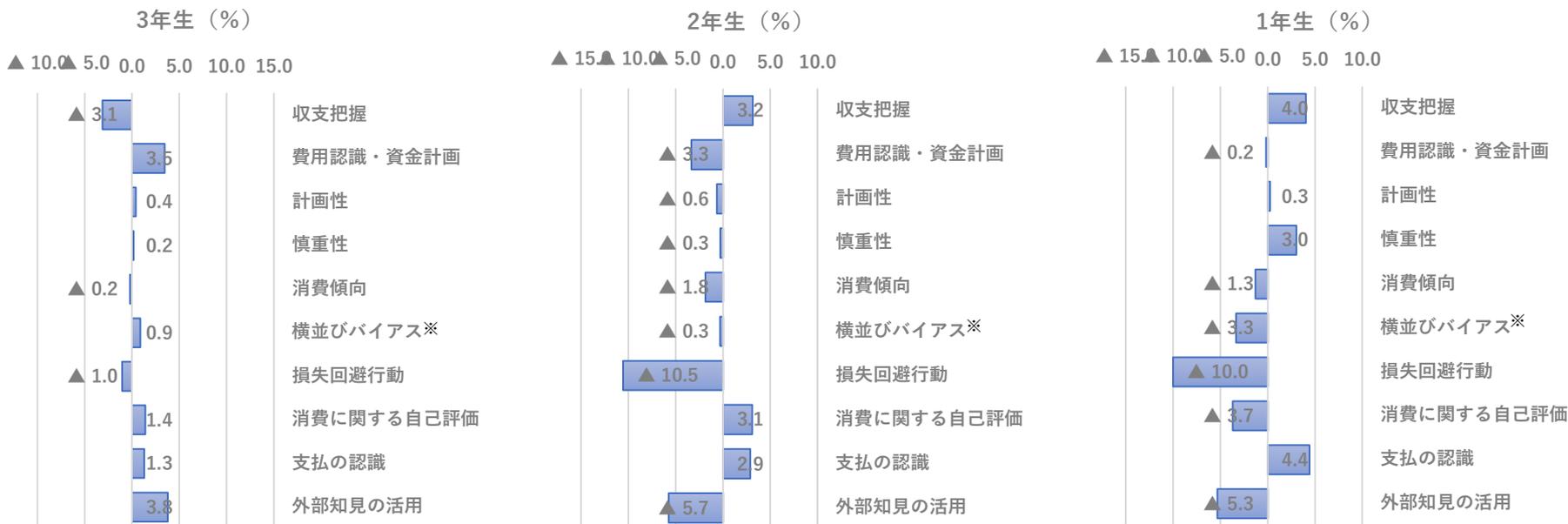
※：反転項目（値が低いほど良い傾向にある項目）

Brief Explanation

- **行動特性・考え方**について性別で比較したところ、各分類のスコア傾向は性別で大きな差はなく、男女ともに「損失回避行動」についてはスコアが減少し、「支払いの認識」については向上していた。
- 受講群の女子生徒は、「収支把握」・「費用認識・資金計画」・「慎重性」について、受講群の男子学生よりもスコアが向上しており、未受講群の女子生徒のスコアと比較すると、女子生徒においてはセミナー受講と「収支把握」・「費用認識・資金計画」に関連性があると言える。
- 「支払いの認識」については未受講群でも向上しており、セミナー受講による効果とは言えない。

9-11. 行動特性・考え方：学年による比較

行動特性・考え方の変化（学年比較）



Brief Explanation

- **行動特性・考え方**について、学年で比較したところ、1年生と2年生、3年生では異なる傾向が見られた。
- 3年生では「収支把握」のスコアが減少しているのに対し、1年生・2年生では向上しており、「費用認識・資金計画」・「外部知見の活用」では逆の傾向が現れた。
- 「損失回避行動」のスコアは、1年生、2年生では大きく減少した。

※：反転項目（値が低いほど良い傾向にある項目）

9-12. 行動特性・考え方：受講プログラムによる比較

行動特性・考え方の変化量（受講プログラム比較）

（単位：％、ポジティブな変化は青字表記）

内容	行動特性・考え方									
	収支把握	費用認識・資金計画	計画性	慎重性	消費傾向	横並びバイアス※	損失回避行動	消費に関する自己評価	支払の認識	外部知見の活用
生活設計・家計管理	▲ 1.1	5.7	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 1.7	0.1	▲ 2.5	▲ 0.3	2.8	4.7
ローン・クレジット	1.5	▲ 3.3	▲ 0.4	1.2	▲ 1.6	▲ 0.9	▲ 9.0	▲ 0.1	3.9	▲ 7.1
金融トラブル	1.1	▲ 1.9	1.3	1.2	0.2	▲ 2.4	▲ 5.8	2.2	▲ 0.6	▲ 0.8

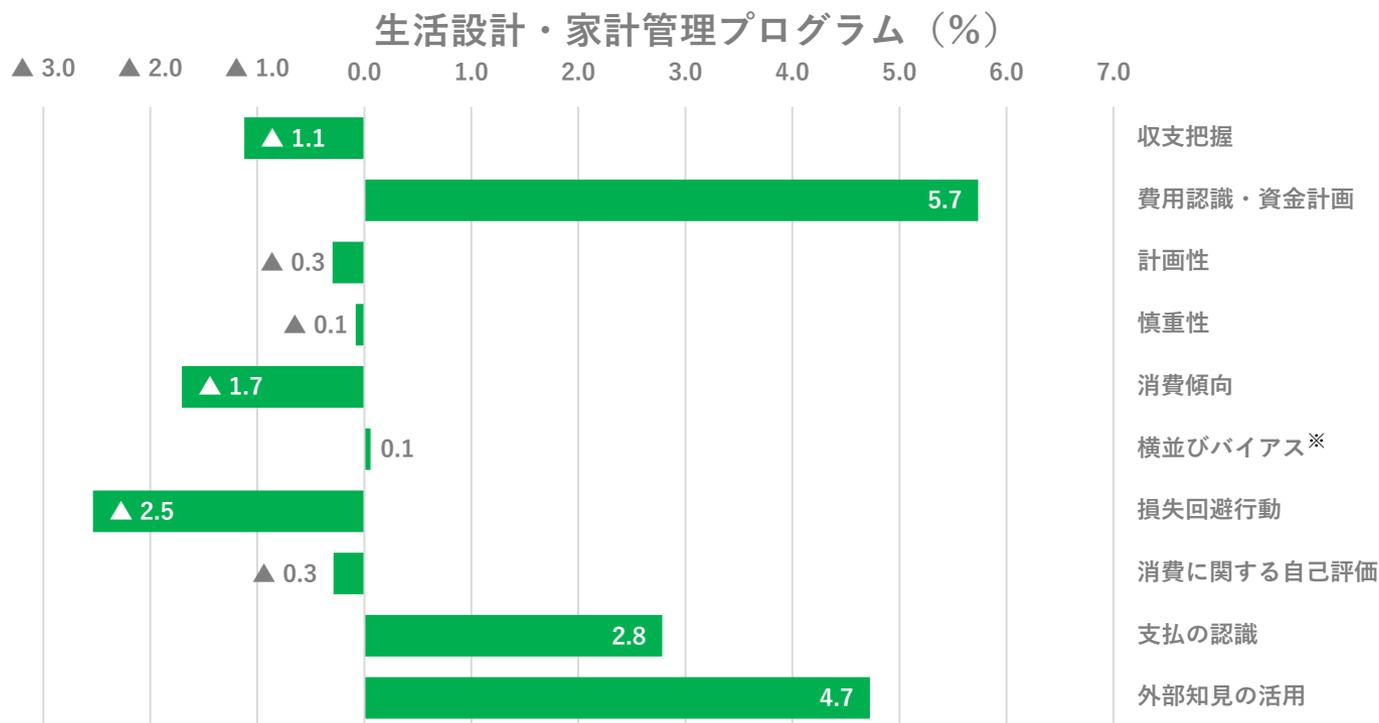
※：反転項目（値が低いほど良い傾向にある項目）

Brief Explanation

- 行動特性・考え方について、受講プログラムにより比較したところ、受講プログラムにより変化がみられる分類に差が見られた。
- 生活設計・家計管理プログラムでは「費用認識・資金計画」と「外部知見の活用」のスコアが大きく向上し、ローン・クレジットプログラムでは「支払の認識」のスコアが向上した。
- ポジティブな変化が見られた分類は、プログラム・コンテンツと対応している部分であることから、前述した通り、セミナー受講による直接的な効果があったと推測される。

9-13. 行動特性・考え方：受講プログラムによる比較

行動特性・考え方の変化量（受講プログラム比較）



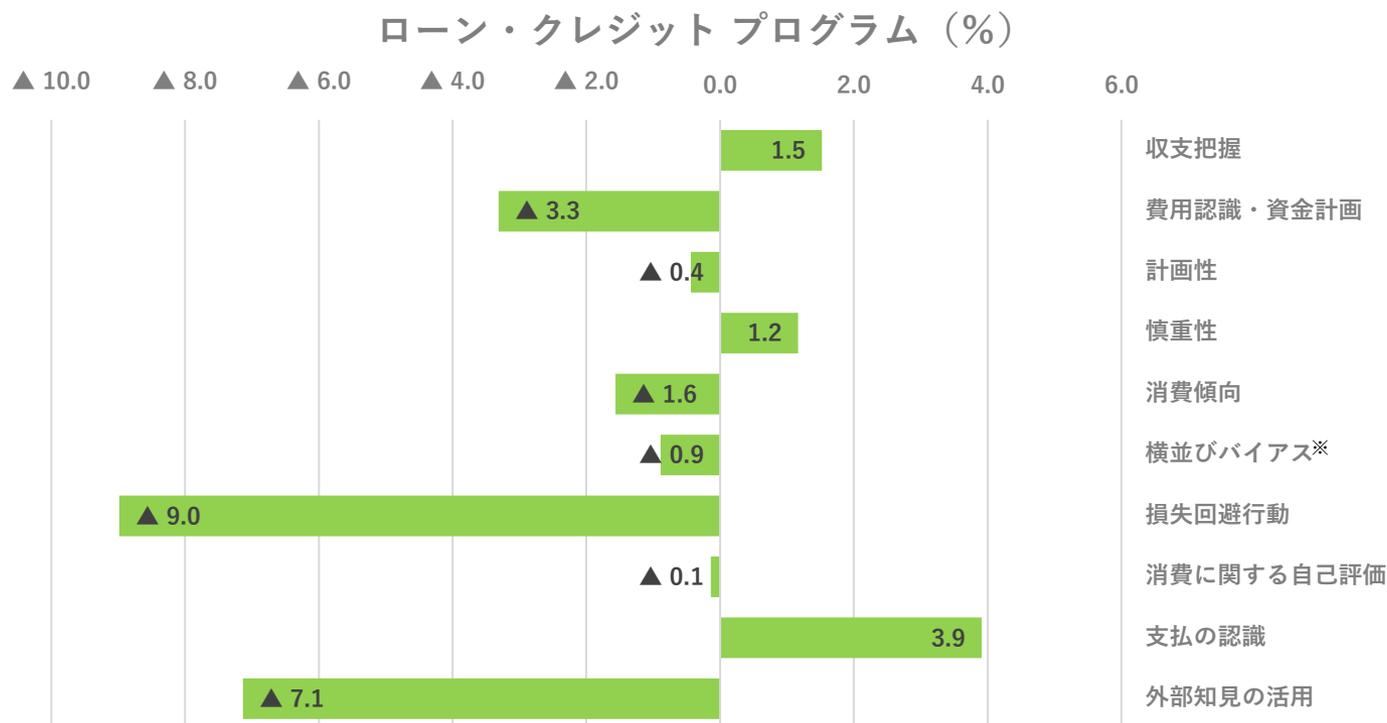
※：反転項目（値が低いほど良い傾向にある項目）

Brief Explanation

- **行動特性・考え方**について、生活設計・家計管理プログラムでは「費用認識・資金計画」・「支払の認識」・「外部知見の活用」においてポジティブな変化が見られた。

9-14. 行動特性・考え方：受講プログラムによる比較

行動特性・考え方の変化量（受講プログラム比較）



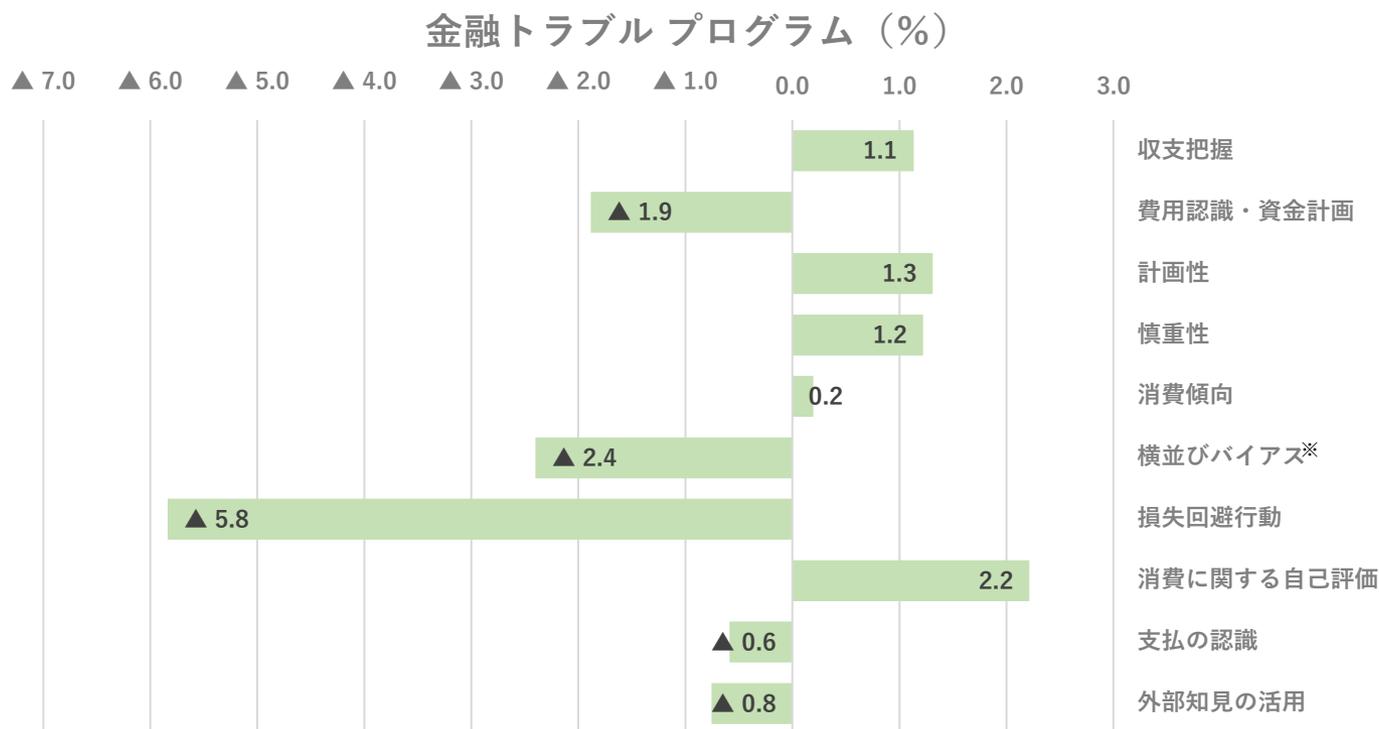
※：反転項目（値が低いほど良い傾向にある項目）

Brief Explanation

- **行動特性・考え方**について、ローン・クレジットプログラムプログラムでは「収支把握」・「慎重性」・「横並びバイアス」*・「支払の認識」においてポジティブな変化が見られた。

9-15. 行動特性・考え方：受講プログラムによる比較

行動特性・考え方の変化量（受講プログラム比較）



※：反転項目（値が低いほど良い傾向にある項目）

Brief Explanation

- **行動特性・考え方**について、金融トラブル プログラムでは「収支把握」・「計画性」・「慎重性」・「横並びバイアス」※・「消費に関する自己評価」においてポジティブな変化が見られた。

10. 金融経済教育・金融トラブルの経験

本調査における対象者のうち、学校および家庭における金融経済教育の経験、金融トラブルの経験がある学生の割合は以下の通りである。

本評価における金融経済教育・金融トラブルの経験

(単位：%)

性別	金融経済教育の経験（家庭）	金融経済教育の経験（学校）	金融トラブルの経験
男性	43.6	37.2	8.0
女性	50.8	33.4	4.7
その他	19.5	16.0	2.9
全体	46.6	35.8	6.4

Brief Explanation

- 金融や経済、特にお金の使い方について家庭で教育を受ける機会があった学生は、46.6%であった。
- 学校において金融経済について学ぶ機会があった学生は、35.8%であった。
- 金融トラブルの経験がある学生は6.4%であった。

11. プログラム・コンテンツとの対応

PROMISE 金融経済教育セミナーの各プログラム・コンテンツとの対応と、客観的金融リテラシー（金融リテラシー・マップ分野）及び行動特性・考え方変化の変化量は以下の通りである。

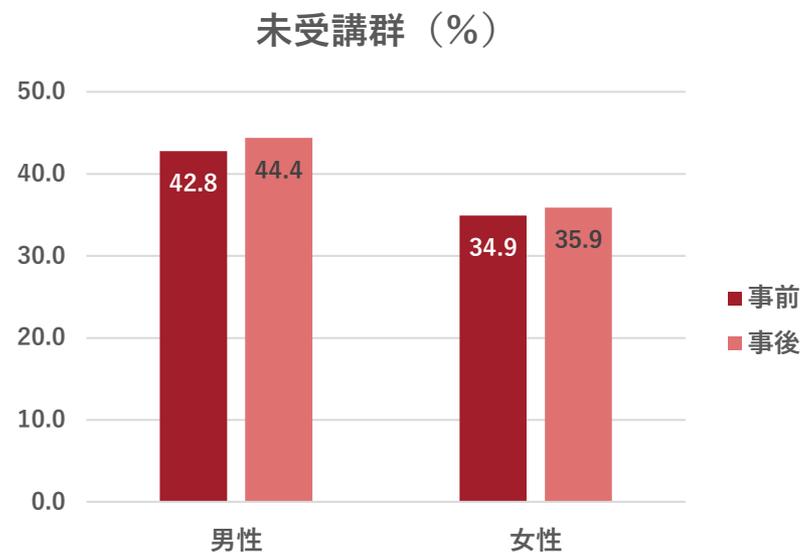
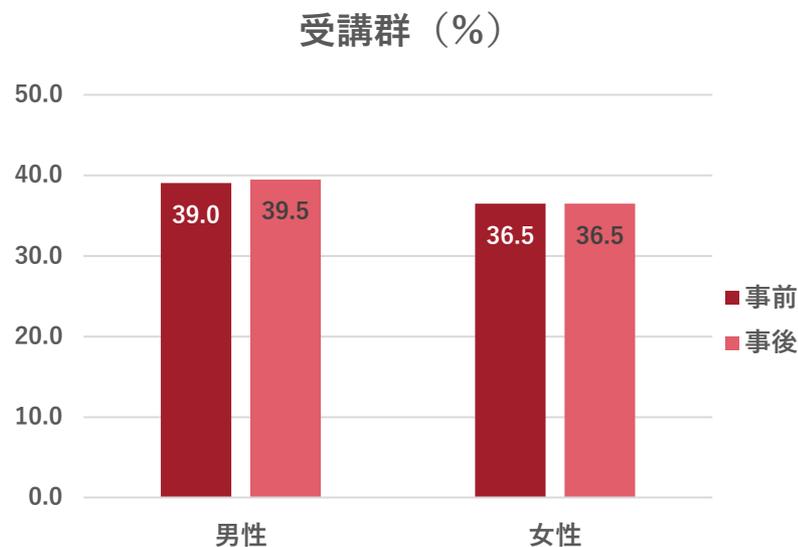
プログラム・コンテンツと客観的金融リテラシーと行動特性・考え方の変化量の対応

#	分類	小分類	生活設計・家計管理	ローン・クレジット	金融トラブル	対象設問
1	客観的金融リテラシー	家計管理	4.2	4.2	0.3	Q3,4
2	客観的金融リテラシー	生活設計	8.7	5.5	▲ 1.5	Q9,10
3	客観的金融リテラシー	金融知識 金融取引の基本	6.9	13.6	11.0	Q11,12,13
4	客観的金融リテラシー	金融知識 金融・経済の基礎	0.9	6.6	0.7	Q15,16,17,18-1,19,20
5	客観的金融リテラシー	金融知識 ローン・クレジット	0.4	3.3	▲ 2.6	Q18-2,25
6	客観的金融リテラシー	金融知識 保険	▲ 0.2	1.3	0.1	Q21,22,24
7	客観的金融リテラシー	金融知識 資産形成	0.2	1.8	▲ 5.1	Q18-3,18-4,26
8	客観的金融リテラシー	外部知見の活用	▲ 1.8	6.2	5.6	Q27,28,29
9	行動特性・考え方	収支把握	▲ 1.1	1.5	1.1	Q2
10	行動特性・考え方	費用認識・資金計画	5.7	▲ 3.3	▲ 1.9	Q6,7,8
11	行動特性・考え方	計画性	▲ 0.3	▲ 0.4	1.3	Q1-4,1-6
12	行動特性・考え方	慎重性	▲ 0.1	1.2	1.2	Q1-1,1-7
13	行動特性・考え方	消費傾向	▲ 1.7	▲ 1.6	0.2	Q1-5,1-9,1-10
14	行動特性・考え方	横並びバイアス	0.1	▲ 0.9	▲ 2.4	Q1-3
15	行動特性・考え方	損失回避行動	▲ 2.5	▲ 9.0	▲ 5.8	Q5
16	行動特性・考え方	消費に関する自己評価	▲ 0.3	▲ 0.1	2.2	Q1-8
17	行動特性・考え方	支払の認識	2.8	3.9	▲ 0.6	Q1-2
18	行動特性・考え方	外部知見の活用	4.7	▲ 7.1	▲ 0.8	Q37

（単位：％、コンテンツに対応しているものは黄色枠、ポジティブな変化は青字表記）

12-1. 自効力感：性別による比較

自己効力感の変化（性別比較）

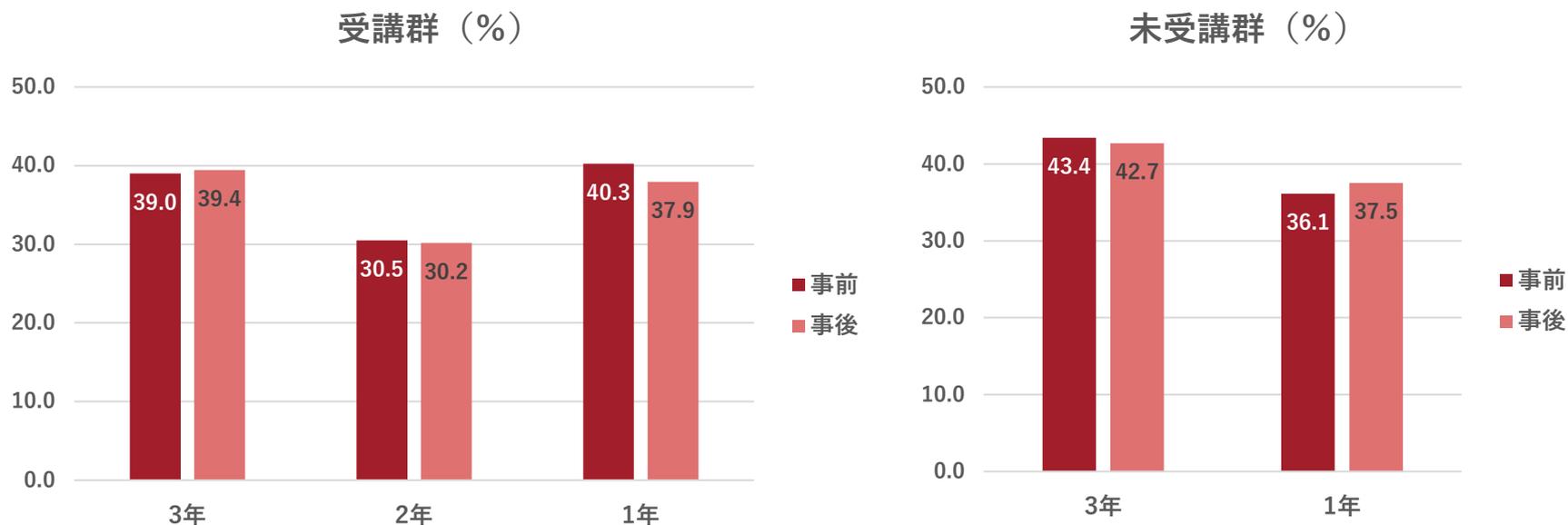


Brief Explanation

- 自己効力感について性別での比較を行ったが、男子生徒、女子生徒共に変化は見られなかった。
- 受講群と未受講群共に、男子生徒よりも女子生徒のスコアが低い傾向にあった。

12-2. 自己効力感：学年による比較

自己効力感の変化（学年比較）

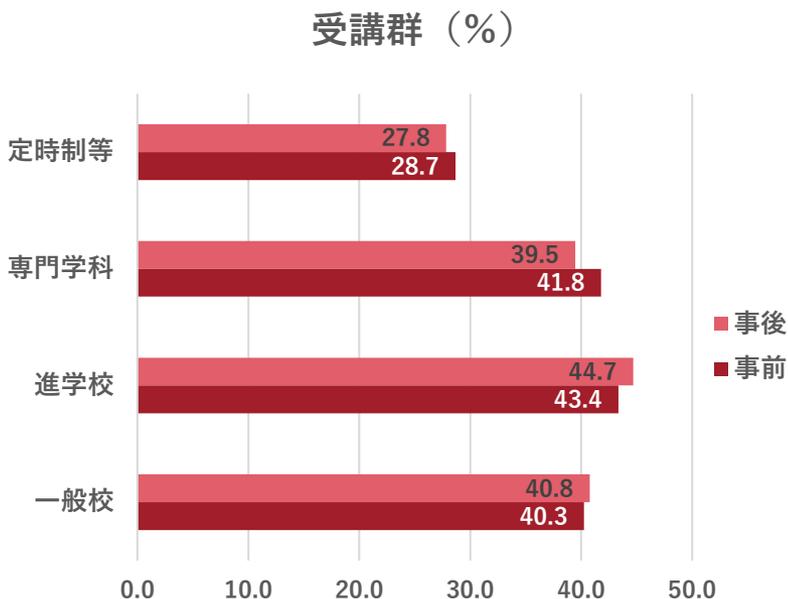


Brief Explanation

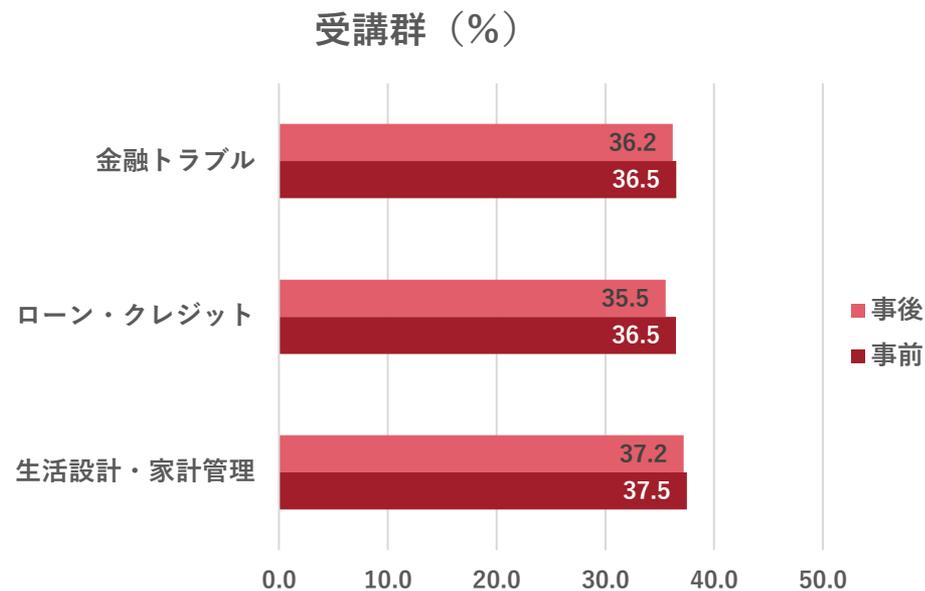
- **自己効力感**については学年での比較を行ったが、2年生・3年生年では大きな変化はなかったが、1年生においては減少傾向が見られた。
- 受講群では、2年生の自己効力感が他の学年よりも有意に低い傾向にあったが、未受講群として2年生のデータを取得することが出来なかったため、学年としての特性かどうかは本調査では推測できない。

12-3. 自己効力感：学校属性・受講プログラムによる比較

自己効力感の変化（学校属性比較）



自己効力感の変化（受講プログラム比較）



Brief Explanation

- 自己効力感について、学校属性による比較を行ったが、全ての学校属性において大きな変化は見られなかったが、定時制等においては他の属性よりもスコアが低い傾向にあった。
- 自己効力感について、受講プログラムによる比較を行ったが、全ての受講プログラムにおいてわずかに減少傾向があったが、大きな変化は見られなかった。